

鹿島高校生の活躍

かごしま国体 全国第2位！

10月に鹿児島県で開催された「燃ゆる感動かごしま国体」弓道競技に3年生の大塚 美咲さん、2年生の林 心咲さんが佐賀県の代表として出場しました。昨年に引き続き、本校生徒が佐賀県代表選手として選出されました。また、本校職員の笠原大輔教諭が監督を務めました。来年、佐賀県で開催される「SAGA2024国スポ」での活躍を期待しています。



彩(いろどり)

～1人1人の色で溢れる学校～

9月25日(月)に令和5年度後期生徒会長選挙立会演説会をオンラインで行いました。3名の2年生が後期生徒会長に立候補し、選挙公約や自分の思いを熱く伝えました。投票の結果、生徒会長は野村 柚花さんに決定しました。

～後期生徒会、活動開始!～



第111回 牡丹餅会 ～まるく、ねばり強く～

10月20日(金)に赤門学舎体育館で牡丹餅会を開催しました。牡丹餅会は、明治37年鹿島鍋島藩十三代藩主鍋島直彬公が邸内に旧制鹿島中の生徒らを招き、牡丹餅をふるまい、激励したのが始まりとされています。余興の部では、空手、剣道、ピアノ演奏が披露されました。会のあと、各教室で牡丹餅を食べ、それぞれの将来に向けて牡丹餅のように「まるく粘り強くなろう!」と決意を新たにしました。



金メダリストに会いました！

10月10日(火)東京オリンピックレスリング女子金メダリストの志土地 真優選手が、志土地 翔大コーチと来校されました。1、2年生を対象に自らの体験について話をさせていただきました。生徒たちは、質問をしたり、金メダルを持ってみたりして貴重な時間を過ごしました。



高校生の献血のきっかけに

「近年献血の需要が高まっている一方で、供給が不足しており、本校からも献血に協力したい」という JRC 同好会部長古賀 佑耶さんの発案で日本赤十字社の方から7月に献血講話、10月13日(金)に献血バスを派遣していただきました。

鹿島市民体育館で本校生徒3年生と教職員を対象に希望者約30名が献血に協力しました。



コミュニケーション・夢・命を大切にしよう

10月16日(月)落語家の林家 染太様を講師にお招きし、赤門学舎体育館で人権・同和教育講演会を行いました。前半は、自身の体験に基づいた話をさせていただき、後半は落語を生で楽しむことができました。講話の中では、人と人とのつながりの大切さ、コミュニケーションの取り方等を分かりやすく伝えていただきました。「ありがとう」「ごめんね」「大丈夫?」という言葉の大切さ、それぞれの個性を理解することの大切さを再認識するいい機会になりました。

～人権・同和教育講演会～



初めて赤ちゃんを抱っこしました！



10月20日(金)鹿島市子育て支援センターに協力いただき、赤ちゃんとそのお父さん、お母さんを本校へお招きし、「ふれあいキッズデー」を大手門学舎武道場にて実施しました。1年生が実際に赤ちゃんを抱っこしたり、保護者の方へ子育てで大変なことや名前の由来などをインタビューしたりして、子育てを身近に感じる事ができました。その後は、子育て支援センターの岩永様に命の講話をしていただきました。今回の体験を通して、生徒達は子どもの成長や子育てについて知り、自らの将来を思い描く貴重な機会となりました。